

研究課題「中枢原発びまん性大細胞型 B リンパ腫の免疫学的特性に関する後方視的研究」に関する情報公開

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

中枢原発びまん性大細胞型 B リンパ腫の免疫学的特性に関する後方視的研究

2. 研究の概要

中枢原発びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫（PCNSL）は、非ホジキンリンパ腫全体の1%以下のまれなリンパ腫ですが、有効な制癌剤が限定されており、放射線照射の感受性が高いものの、治療後の神経毒性の問題から、高齢者には適応されにくいいため、今後、さらなる治療開発が必要なリンパ腫です。近年、一部の悪性リンパ腫に対し、免疫チェックポイント阻害剤を利用した新規治療法が発表されており、難治性リンパ腫全体への応用が期待されていることから、PCNSLでの同治療の適応がある症例の有無を検討するため、当院でこれまで治療された患者さんの標本について、EB ウイルスの存在や、PD-1 抗原の発現の有無を検討し、あわせて、治療中の臨床情報を調べさせていただきます。

3. 研究の対象・方法

①対象となる患者さん：2008年1月1日から2017年12月31日までの間に、当院で治療されたPCNSLの患者さんを対象とします。

②研究の方法：病理検査室に保存されている腫瘍細胞の固定標本を名古屋大学病院 病理部中村栄男教授に依頼し、免疫染色にて、PD1 蛋白の染色や EB ウイルスの存在を検索電子カルテにて、一般身体所見、MRI 画像、臨床検査値、臨床経過の閲覧 ③研究期間 倫理委員会承認日より 2018年12月31日まで

4. 外部への試料・情報の提供

貴重な患者さんの試料や個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいた院内規定を守ったうえで管理します。研究で利用する病理標本やカルテから収集された情報は、氏名・カルテ ID など、直ちに個人を特定できないように匿名化した上で名古屋大学医学部附属病院病理部へ提供します。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合にも患者さんに不利益が生じることはありません。

5. 研究組織

5-1. 研究責任者

豊田厚生病院 血液内科 部長 鏡味良豊

5-2. 共同研究者

豊田厚生病院 血液内科 高木雄介

豊田厚生病院 血液内科 平賀潤二

豊田厚生病院 血液内科 鈴木奈瑠子

豊田厚生病院 病理診断科 成田道彦

豊田厚生病院 病理診断科 氏平伸子

名古屋大学医学部附属病院 病理部 中村栄男

6. 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：豊田厚生病院 血液内科 鏡味良豊

郵便番号 470-0396 豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）